



報道関係各位
プレスリリース



国際的な森林認証制度 FSC®の普及啓発キャンペーン
「FSC フォレストウィーク 2015」が終了

FSC ジャパンは、2015年9月11日から9月28日まで「FSC フォレストウィーク 2015」キャンペーンを開催いたしました。

期間中、23の参加企業・団体によって、消費者向けの普及啓発イベントやビジネス向けのセミナー、FSC 認証林を訪問するツアーなど様々な活動が行われました。

【FSC フォレストウィークとは?】

本キャンペーンは、FSC が毎年9月の最終金曜日に世界で実施している普及啓発イベント「FSC Friday」の日本版として行われました。違法伐採を食い止め、持続可能な森林管理を目指して取り組んできた23の企業・団体が参加し、企業や消費者に向けて、環境や社会に配慮して生産された林産物を選び、世界の森林保全を推進する手段 - FSC 森林認証制度を普及することを目的としています。

【FSC フォレストウィーク開催概要】

- 主催：FSC ジャパン ■共催：WWF ジャパン・FSC 応援 PROJECT
- 期間：2015年9月11日(金)～9月28日(月)
- 参加企業・団体(五十音順)

イオン株式会社、株式会社イオンファンタジー、株式会社イトーキ、王子ネピア株式会社、王子ホールディングス株式会社、一般社団法人木暮人倶楽部、株式会社誠晃印刷、株式会社ダイエー、株式会社竹尾、田中林業株式会社、株式会社東急ハンズ、株式会社西栗倉・森の学校、一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会、日本生活協同組合連合会、日本テトラパック株式会社、浜松市、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、三菱製紙株式会社、三菱製紙販売株式会社、丸美工藝株式会社、メリタジャパン株式会社、森永乳業株式会社、株式会社ラッシュジャパン



「体験を通じて」を实践 消費者啓発イベント

■ FSC フォレストウィーク・オープニングイベント

キャンペーン初日の9月11日には、開催を記念してオープニングイベントがダイエー赤羽店にて開催されました。近隣の幼稚園とも協力し、約60名の子供たちにWWFジャパンのFSC普及啓発用絵本「森を守るマークをえらぼう！」をもとに作成した紙芝居で、森や動物、そしてFSCの意味を伝え、その後実際に店内をまわってFSCラベル付き製品を探すワークショップなどを行いました。

またダイエー赤羽店では、期間中継続して一般の来店客を対象とした「FSCラベルラリー」も実施。FSC認証製品は、身近な日用品のなかに徐々に増加しつつあるものの、ラベルのサイズや位置によっては、一般の消費者にはなかなか気が付きにくいものです。このことはFSCの普及における課題の一つともなっています。

そこでこのラベルラリーを通じて、実は身近なところにラベル付きの製品があることを知ってもらおうと、売り場でFSCラベルの付いた飲料紙パックやキッチンタオル、ノートやコピー用紙などの紙製品を皆で探しました。FSC普及の取り組みとしては世界的にみても珍しいものとなりました。



©FSC 応援プロジェクト



©FSC 応援プロジェクト



©WWF ジャパン



©WWF ジャパン



ラベルラリー参加用紙

■ FSC の森を「知る・見る・食べる」エコツアー 2015

9月12日には、「FSC フォレストウィーク」の共催団体である FSC 応援プロジェクトにより、東京都の檜原村にある田中林業への FSC 認証林ツアーが一般に呼びかけられました。定員を上回る応募のなかから抽選で選ばれた 14 名と三菱製紙販売株式会社が招待した大学生 10 名の総勢 24 名が参加しました。普段なかなか訪れることのできない FSC 認証林を訪問し、FSC が目指す森の管理について実際に森を歩きながら学びました。その後はその森から伐り出された薪でピザ焼き、さらにバターナイフづくりも挑戦。適切に管理される森からの恵みを満喫できるという内容でした。



©FSC 応援プロジェクト

FSC を通じてビジネスに付加価値を

■ FSC ビジネスフォーラム 2015

9月18日には、株式会社イトーキにより FSC ビジネスフォーラム 2015 が開催され、100 名を超える方が参加しました。現在、宮城県南三陸では、森林では FSC 認証、そしてその森とつながる海では養殖水産物の国際的な認証取得を目指しています。地域で連携し新たな価値を生み出そうとするユニークな取り組みが紹介されました。

続いて、スープストックトーキョーを運営する株式会社スマイルズやイオントップバリュ株式会社などからも、店舗で使用される建材やテーブルなどの内装に、国内の FSC 認証材が活用されている事例などが報告されました。



©株式会社イトーキ

FSC の FM (Forest Management、森林管理) 認証というと海外の認証林について語られることが多くなりがちですが、日本にも 34 の FM 認証を取得している組織があり、認証林は 33 都道府県に存在しています。国内の認証林もそれぞれの地域やビジネス関係者と連携しながら、その価値を高めていこうとする活発な動きあることが紹介されました。

また講演後には、日本のこれまでの「FSC Friday」でも恒例イベントになっている FSC 関係者の交流会、「FSC フォレストウィークパーティー」が開かれました。認証取得者や普及に関わる企



業・団体などが参加し、自由に、そして気軽に最近の動向や今後の展望などの情報交換が行われました。

拡大する FSC 2020 年に向けて高まる期待

■ FSC フォレストウィーク・クロージングイベント

本キャンペーンの最終日となった 9 月 28 日には、締めくくりのクロージングイベントがイオン葛西店にて開催されました。

参加団体の一つで、森をはじめ自然のなかでの活動を基幹とする公益財団法人ボーイスカウト日本連盟からは、FSC に賛同する応援宣言がなされました。また、キャンペーン期間中、全国の 60 以上の店舗で FSC 普及のためのワークショップなども行っていたイオン株式会社からも 2020 年に向け FSC の認証製品を増やしてゆく計画であること、そしてより消費者の理解も得られるようコミュニケーションを行なっていくことが発表されました。今後さらに FSC が推進されてゆくことが期待できるものとなりました。

また FSC フォレストウィーク期間中には、多くの場面で 2020 年に開催されるオリンピック・パラリンピック東京大会での林産物調達が話題となりました。これは「最も環境に配慮されていた」と言われる 2012 年のロンドン大会では、競技場やチケットやプログラムなど多くの林産物に FSC が採用されていたこと、そして 2016 年に開催されるリオ大会では、さらに厳しい基準がサプライヤーに求められていることによるものです。

2020 年の”ビックイベント”も視野に、日本でも関心が高まる第三者認証。本キャンペーンは、FSC 普及のためにサプライチェーンの最上流である林業者から最も消費者に近い小売業まで、さまざまな異なる立場の企業・団体が参加し、協働するかつてない機会となりました。

その他様々なイベント・展示が実施されました

■ 9 月 19 日（土）～23 日（水）＜株式会社イオンファンタジー＞ 全国約 65 店舗にて、森を守る FSC マークを知ってもらおう親子パンダのおはなし紙しばいと、FSC 認証紙の紙ひこうきづくり等の子ども向けイベントプログラムが実施されました。

■ 9 月 11 日（金）～25 日（金）＜株式会社竹尾＞見本帖本店にて認証製品や認証紙が採用された事例の展示が実施されました。

■ 9 月 11 日（金）～終了日未定＜株式会社東急ハンズ＞一部店舗を除く全国の店舗にて、認証製品への POP 掲示が実施されました。



■9月11日（金）～25日（金）＜株式会社ダイエー＞ダイエー赤羽店にて、売場のFSCラベル付き製品を探してシールを集めるとプレゼントがもらえるFSC普及啓発イベント「FSCラベルラリー」が実施され、1Fショーウィンドーには、期間中認証製品の展示が行われました。

■9月11日（金）～25日（金）＜一般社団法人木暮人倶楽部＞第4回木暮人祭りの会場富士見パノラマリゾート（長野県）や、浜松市の天竜区役所・二俣協働センターにて、FSCに関するパネル展示やFSC認証製品の展示が実施されました。

■9月11日（金）～25日（金）＜丸美工藝株式会社＞丸美工藝株式会社神田本社1階にて、FSC認証製品の展示が実施されました。

■9月11日（金）＜株式会社ダイエー及び株式会社イオンファンタジー＞ダイエー赤羽店2階カフェもりっちゃにて、森を守るFSCマークを知ってもらおう親子パンダのおはなし紙しばいが実施されました。また、同店ポタニカルショップにて、消費者普及啓発ミニセミナー「みんなが幸せになる商品を選ぼう！」が実施されました。

■9月12日（土）＜三菱製紙販売株式会社及び田中林業株式会社＞東京都檜原村の田中林業の森にて、FSC認証林の森林整備ボランティアが実施されました。

■9月12日（土）＜一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会＞リビングデザインセンターOZONE6階すまいくラボにて、セミナー「木づかい・木くばりのインテリア」が実施されました。

■9月28日（月）＜イオン株式会社・FSC応援PROJECT・浜松市・公益財団法人ボーイスカウト日本連盟・三菱製紙株式会社エコシステムアカデミー＞イオン葛西店イベントスペースにて、一般のお客様向けに、FSC認証の材料を使用した紙すき体験や押しピン作り、マイ箸作りのワークショップが実施されました。

上記に掲載のイベント・展示以外にも、参加企業・団体による社内広報やFacebookでのFSC普及活動が行われました。詳細は下記ページをご覧ください。

＜FSCジャパンウェブサイト FSC フォレストウィーク特設ページ＞

<https://jp.fsc.org/fsc2015.89.htm>

＜FSC応援PROJECT Facebook ページ＞

<https://www.facebook.com/FSC%E5%BF%9C%E6%8F%B4PROJECT-204177259754209/timeline/>



【FSC®について】

FSC（Forest Stewardship Council®、森林管理協議会）は責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とした独立した非営利団体であり、国際的な森林認証制度を運営しています。環境保全の点から見て適切で、社会的な利益にかない、経済的にも継続可能な森林管理を理念とし、森林が急速に破壊されている状況を背景に、1994年、環境団体、林業者、林産物取引企業、先住民団体などが中心となって設立されました。責任ある森林管理から生産される木材とその製品を識別し、それを消費者に届けることで、責任ある森林管理を消費者が支える仕組みを作っています。FSC認証は、多くの消費者、環境団体、企業などから支持を集め、世界で最も信頼度の高い森林認証として国際的に知られています。